

# 住吉台中学校区 学校支援地域本部だより

～住吉台小学校★住吉台中学校～  
平成25年度版 NO.7

発行 住吉台中学校区  
学校支援地域本部  
連絡先 080-1816-9979  
宮本・佐藤  
平成25年11月8日発行



## ★ 防災訓練 ★

10月20日（日）連合町内会、住吉台中学校、住吉台小学校合同の防災訓練を行いました。

校庭での開催予定でしたが、あいにくの天候のため小学校体育館での訓練となりました。

合同での訓練は初めての試みですが、地域みんなが防災に対して同じ意識を持つ良い機会になったと思います。



## 《中学生》

1年生と2年生は防災に関するDVDを観た後小学校体育館へ移動し地域の方々や小学生と合流しました。そして災害用伝言ダイヤルの説明とけが人の救護方法についての講習を受けました。

また3年生の男子は簡易トイレの組み立てに挑戦し、女子は炊き出し訓練を行いました。



## 《小学生》

1時間目には、各学年とも防災についての授業参観を行い、開会式参加後は、学年毎に防災をテーマにした学習を行いました。

- ・ 1. 2年生は、『防災用教材』を使い、「津波の時にはチーターのように、ビューンと高いところに逃げる」「火事の時には…」と、具体的事例と動物とを関連付けて学習。
- ・ 3. 4年生は、消防署の方から三角巾や包帯を使っての応急手当を学習。
- ・ 5. 6年生は、北校舎にある防災備蓄倉庫から備品を運びだし、展示のうえ、それぞれの内容を確認。



小学校・中学校のHPにおたよりがアップされています。写真などカラーでご覧いただけます。



## 中学校



### ★ 高校の先生による講話 ★

10月9日（水）宮城県泉館山高等学校の本間利裕先生と東北高等学校の矢子浩次郎先生をお招きして、講演会をおこないました。これは住吉台中学校3学年PTA行事の進路学習会として催されたもので、3学年生と保護者の方々が参加しました。



本間先生は、一度社会人になってから教師に転職したご自身の体験から、将来夢は変わるかもしれないが、今日の前にあることに取り組むことが大切。今がんばることが、将来の夢につながるとお話をされました。

また保護者にむけては、子どもの話しは聞いてあげる。干渉しすぎるのは良くないが、見守りながら励ましてあげてほしいとのことでした。

矢子先生は、まず自分の目標を考えて高校を選んでほしい。目標を見据えて高校を選べば、進学しても自分の望む授業に出会える。高校生活は自分で考えて判断して行動することが必要となってくるとお話をされました。

保護者にむけては、子どもと会話してほしい。進路の話しや目標を聞いてあげてほしい。また、高校生になっても学校に足を運んでほしいとのことでした。



## 小学校



### ★ 6年生 防災についての授業 ★

6年生は「防災訓練」に先立ち、10月7日（月）に住吉台連合町内会の藤原正道会長から、防災についての心構えを学びました。



- ◇「防災」と「減災」という言葉の違い。災害は防げないけれども被害を減らすことはできる。
- ◇地震が起きた時どうするか、町内での決め事がある  
→玄関に無事を知らせるタオルやハンカチを出す。
- ◇住吉台には8000人以上の人が住んでいるが、  
65才以上のお年寄りが約850人、  
0才～6才の乳幼児が約400人。  
その人たちをみんなで助けなくてはいけない。
- ◇今、地震が起きたらどうするか。みんなができる「自助」「共助」を考えてほしい。
- ◇地域行事の参加率の高い地域は災害が起きた時にも「共助」ができる。「あいさつ」は「共助」の近道のひとつ。

3年生の最後に大震災を体験した児童は、初めて聞く言葉や具体的な数字にうなづきながら真剣に聞き入っていました。